



「中国くるぶ」など活動計画承認

杉山会長を再選 2016年度定期総会



杉山幹夫会長

県日中友好協会は5月7日、岐阜市内の村上記念病院ホールで

本年度の定期総会を開き、総額2百52万円の本年度予算案、日中交流会議、公開例会「ぎふ中国くるぶ」など年間活動計画案を原案通り承認。任期(2年)満了に伴う役員改選で、杉山幹夫会長を再任した。

前年度の事業報告で、当協会の創立60周年を大勢の来賓、会員、関係者の出席を頂いて開催できたこと強調した。

昨年9月の岐阜市内での創立60周年記念式典は郭燕駐日中国大使館公使、葛廣彪駐名古屋総領事、野田聖子、武藤容治両代議士、古田肇知事、岡崎温(公社)日中友好協合理事長らが来賓として出席、丹羽宇一郎公使、日中友好協会会長(元駐中国日本大使、元伊藤忠商事会長)の講演で盛会に終えることが出来た。

また、60周年記念誌の発行、11月の加藤千洋同志社大学大学院教授(元朝日新聞編集委員)を招いた記念講演会も朝日大学の協賛で好評の声を頂いた。

本年度の活動方針は、来年が日中交正常化45年、日中不再戦碑文交換55年に当たり、「不戦と友好」の原点に返り、民間交流を一層進めることを第一に挙げた。

そのための公開例会「ぎふ中国くるぶ」を立ち上げ、会員拡大、関係団体やグループとの交流、連携を充実させ、政治と一線を画した人と人との交流ドラマをつくっていく。

本年度予算は前年度に比べ70万円ほど減額になったが、前年度は創立60周年で事業費が膨らんだため、本年度は来年の節目を見据え、友好都市間交流に積極的にかかわったり、人と人との草の根交流の輪を広げたりしていく。

公開例会「ぎふ中国くるぶ」は、今年を協会の新たな出発年とし「楽しく」をモットーに「きく」「みる」「まなぶ」の精神で民間交流の糸口を見つける。テーマはジャンルを問わず2か月置きに開催予定。非会員でも参加できる。

任期満了に伴う新役員は次の皆さん。

- ▽名誉会長 細江茂光(再)▽特別顧問 村瀬恒治(再)▽顧問 堀幹夫(再)
- ▽会長 杉山幹夫(再)▽副会長 國島芳明(再) 水野光二(再)▽理事長 土屋康夫(再)▽理事 北村章、伊藤敏彦、杉山博将、庄曉暉、石川道政、鈴木高啓、大友克之(以上再)、田中孝典(新)、西村今日子(新)▽監事 牧村光昭(再)、畠山信(再)

ハローギフハローワールド 2016のお知らせ

県国際交流センター、県国際交流団体協議会が主催する国際交流イベント「ハローギフ・ハローワールド2016」が7月、岐阜市内で今年も開催される。

本県に活動拠点を置く国際交流・協力団体、外国人支援団体等が取り組む活動や、各国文化を様々なパフォーマンス、体験等を通じて紹介し、県民の国際理解の推進、日本人と在住外国人の交流促進を図る。

毎年、高島屋前わくわくステージでライブイベントが行われ、シネックスホールでは、各ブースでの各国料理試飲や民芸品販売、民族衣装の着付などが行われる。各国の文化を体験し、国際交流が楽しめる。

県日中友好協会もブースを出し、訪中派遣学生のパネル写真の展示や書籍販売活動のPRを行う。

日時：2016年7月10日(日)
10:00~15:00

場所：シネックスホール
(シネックスビルB1階)
柳ヶ瀬高島屋前わくわく広場
(岐阜市日ノ出町2-25)

参加費：入場無料

主催：県国際交流団体協議会
(公財)県国際交流センター

日中は対立から補完へ

トヨタ元中国駐在員 阪本氏が講演

本年度の目玉事業となる公開例会「ぎふ・中国くるぶ」が5月7日、岐阜市内の村上記念病院ホールでスタートした。トヨタの元中国駐在員阪本敦さんが初回の講師を務め、約80人の参加者に、かつて上海で日中親善に尽くしたトヨタの創業者、豊田佐吉と大番頭の西川秋次の生き方や駐在経験から学んだ中国観を語り「日本と中国はこれからも補完し合うことで進歩する」と訴えた。

に報いるというのが共通の哲学だった。西川が戦後上海に残り紡織技術を伝授したのはその証左」と語り、「これからお互いを補完軸ととらえ、身の丈に合った日中交流をまず一つやってみよう」と呼びかけた。

西川のお孫さんも参加、阪本さんの話に耳を傾けた。講演後の懇談会でオールド上海（1935年頃）の絵葉書やある会で中国人が佐吉や西川に感謝のスピーチをしたときの写真を披露、しばし時の人に。今回の講演をとても喜んでおられた。

阪本さんは1994年から中国事業に携わり通算14年駐在。トヨタ自動車（中国）投資有限会社上海分公司総経理のとき、佐吉と西川が戦前戦後、上海豊田紡織廠を通じ日中友好を紡いだ歴史を知った。四川大地震（2008年）のとき、被災地キャンプで子供の心のケアに取り組み、また、2012年の反日デモのとき、暴徒化したデモ隊につながる道で「日本車はUターンを」とプラカードを掲げて危険を知らせる中国の若者は脳裏に焼き付いた。

「佐吉と西川秋次の物語」と題した話で、阪本さんは「佐吉と西川は、儲かるから上海に進出したのではなく、中国を日本にとって大切な国ととらえ、中国から受けてきたさまざまな恩



写真は、「ぎふ・中国くるぶ」で阪本敦さんの話を聞く参加者＝岐阜市の村上記念病院

ぎふ中国くるぶ公開例会

今後の予定

◆ 第2回

講師：大垣共立銀行
海外事業推進部
部長 後藤 勝利 氏

日時：7月23日（土）
午後1時30分から

会場：朝日大学歯学部附属
村上記念病院西館1階

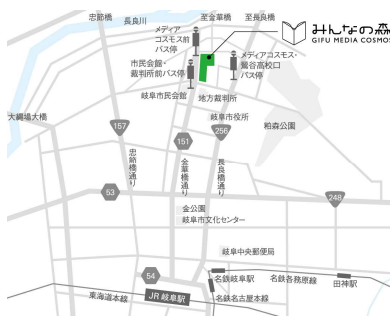


◆ 第3回

講師：潘 麗 氏
（二胡奏者）

日時：9月20日（火）
午後1時30分から

会場：みんなの森
ぎふメディアコスモス
かんがえるスタジオ



◆ （特別例会）

講師：阿南・ヴァージニア
・史代 氏
（歴史研究家）

日時：10月29日（土）
午後1時30分から

会場：朝日大学
5号館講義室

